

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学 終了報告書

所属(本学)	環境社会理工学院 建築学系		
現在の学年	修士 1 年		
留学先国	ドイツ	留学先大学	ベルリン工科大学
留学期間	2016 年 9 月 2 日～2017 年 8 月 31 日		

① 留学先大学(機関)の概略

ベルリン工科大学は学生数約 3 万人を抱えるドイツ有数のマンモス大学です。工科大学としてはアーヘンに続いて 2 番目に大きく、多様な人種および年齢の学生が学んでいます。数々の有名建築家が携わってきた大学で、建築学棟も彼らの設計によるものです。

② 留学前の準備

修士論文の執筆に当たってより専門的なことを学びたいと思い、修士 1 年の夏から一年間留学することにしました。これから就職活動をし、来年一年間で論文に取り組み、修了する予定です。

ドイツ留学において特殊なのはビザ取得制度です。大方の国は出国前にビザを取得しますが、ドイツは入国後現地で取るという制度を取っています。時期にもよりますが、早朝から長い列に並ばなければならないケースも有るので、気を付けたいところです。

③ 留学中の勉学・研究

授業はスタジオと呼ばれる設計演習課題とセミナーをいくつか取り、加えてドイツ語の語学クラスに通っていました。スタジオは 2 週に 1 回程度教授に見てもらう機会がありますが、学生から直接アポイントメントを取って聞きに行くこともよくありました。教授と学生は対等に議論する関係であって、学生の主体性が強く求められているように感じました。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

建築学専攻なので、時間を見つけては旅行に出かけ、沢山の建築を見に行きました。平日も授業後にギャラリーやレクチャーに出かけ、様々な文化に触れることができとても充実していました。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

この一年間で最も成長したと思う点は、積極性です。もともと消極的で後悔することが多かったのですが、留学先での自分から行動しないと何も始まらないという環境のなかで、少しずつ自分から声をかけたり主張したりできるようになった気がします。

⑥ 留学費用

渡航費約 8 万円、住居費月 265€、保険料月 90€、奨学金月 8 万円

⑦ 留学先での住居

寮は 5 つほどの選択肢があります。先方から寮の情報がメールで送られてくるので、自分の好きな場所を選び、その旨を伝えると部屋を割り当ててくれます。私はキッチンのみシェアで、風呂トイレは自分専用の寮に住んでおり、家賃は月 265€でした。

⑧ 留学先での語学状況

授業は英語開講のものを履修しました。ドイツ語の授業も履修していたので、日常会話はできるようになりました。生活は基本英語が通じましたが、現地の友達の輪に入るにはやはりその国の言葉が必須であることを痛感しました。

⑨ **単位認定(互換)、在学期間**

成績証明書が発行され次第単位互換の手続きを行う予定です。

⑩ **就職活動**

まずは日本で就職活動をする予定です。

⑪ **留学先で困ったこと(もしあれば)**

特になし

⑫ **留学を希望する後輩へアドバイス**

語学は英語だけでなく現地の言語も事前に勉強しておくことを強くお勧めします。日本で出来なくても、現地で語学コースを続けるだけで、コミュニケーションの深さが全く変わってきて、より充実した留学生活になると思います。